

# 論文概要

九州工業大学大学院情報工学府 先端情報工学専攻 知能情報工学専門分野

学 生 番 号	12345678	氏 名	九工大 太郎
論 文 題 目	卒業論文，修士論文の概要および表紙のスタイルファイル － その構成と利用方法 －		

## 1 はじめに

このファイルでは，知能情報工学科（先端情報工学専攻 知能情報工学分野）の卒業論文及び修士論文概要スタイルファイルの使い方について説明する．

## 2 必要なファイル

概要作成に必要なファイルは，

```
personal.tex 個人データファイル
abst.tex      概要
AIabst.cls    概要クラスファイル
```

である．概要作成時には `abst.tex` をコンパイルすればよい．

論文本体作成に必要なファイルは，

```
personal.tex 個人データファイル
main.tex     本体
AIcover.sty  表紙類スタイルファイル
AIthesis.sty 論文本体スタイルファイル
```

である．論文本体作成時には `main.tex` をコンパイルすればよい．

またバインダ用の表紙作成に必要なファイルは，

```
cover1.tex  論文表紙
spine.tex   論文背表紙
AIcover.cls 表紙類クラスファイル
```

である．表紙作成時には，`cover.tex` および `spine.tex` をコンパイルすればよい．

基本的には以下の 3 つのファイル

```
personal.tex
abst.tex
main.tex
```

を加筆・修正することで，概要と表紙を含む論文本体<sup>1</sup>が作成できるようになっている．なお，表題を 2 行に分けたいときには，`personal.tex` の題目の改行位置に `\\` を挿入すること．

修論の場合はクラスファイルオプション `master` を指定し，

<sup>1</sup> 論文本体をコンパイルするときに概要の PDF を読み込んでい  
る．もし，`main.tex` をコンパイルして概要（`abst.pdf`）が正しく出  
力されない場合は，PDF を編集可能なソフトウェアを利用し，中  
表紙と論文本体の間に概要を挿入すること．

```
\documentclass[master]{AIabst}
```

あるいは

```
\documentclass[master]{AIcover}
```

などと修正したのち，コンパイルすること．

## 3 注意する点

本スタイルファイルで注意する点は以下の通りである．

1. 卒業論文における所属部門名は以下の通りである．なお，「 部門」の「部門」は不要である．

- 知能数理学部門  
坂本，瀬部，平田，井，石坂，下園，乃美の各研究室．
- 知能情報アーキテクチャ部門  
久代，八杉，吉田，江本，片峯の各研究室．
- 知能情報メディア部門  
榎田，岡部，嶋田，乃万，國近，中村の各研究室．

2. 基本的に通常の `LaTeX` と同じように利用できる．ただし，パッケージは最低限のものしか入っていないので，必要に応じて `abst.tex` へ追加すること．

3. 見出しは `section` と `subsection` しか使えない．

4. `baselineskip` は変更しないこと．

5. 参考文献を加えてもよい．使い方は通常通りである．例えば，“`LaTeX` の参考書には [1, 2] がある．”

## 参考文献

- [1] 野寺隆志，楽々`LATEX`（第 2 版），共立出版，1994．
- [2] 奥村晴彦，`LATEX2ε` 美文書作成入門－論文作成から DTP まで自由自在－，技術評論社，1997．